

J グランツの概要

Jグランツ概要

- 補助金申請システム（Jグランツ）は、補助金の電子申請を行えるシステム。国や地方公共団体（都道府県など）が執行する補助事業で利用可能。補助金の申請者がJグランツを利用する際には、「GビズID」を利用。法人、個人事業主、地方公共団体等を交付対象とする補助金で利用可能。
- 現状では、年間60万件の申請を処理する能力しかないが、2024年度に大幅な改修を実施予定（2025年度リリース開始予定）。
- 新システムでは年間1000万件の申請の処理を行えるようにアーキテクチャを検討中であり、利用者体験も改善予定。

事業者

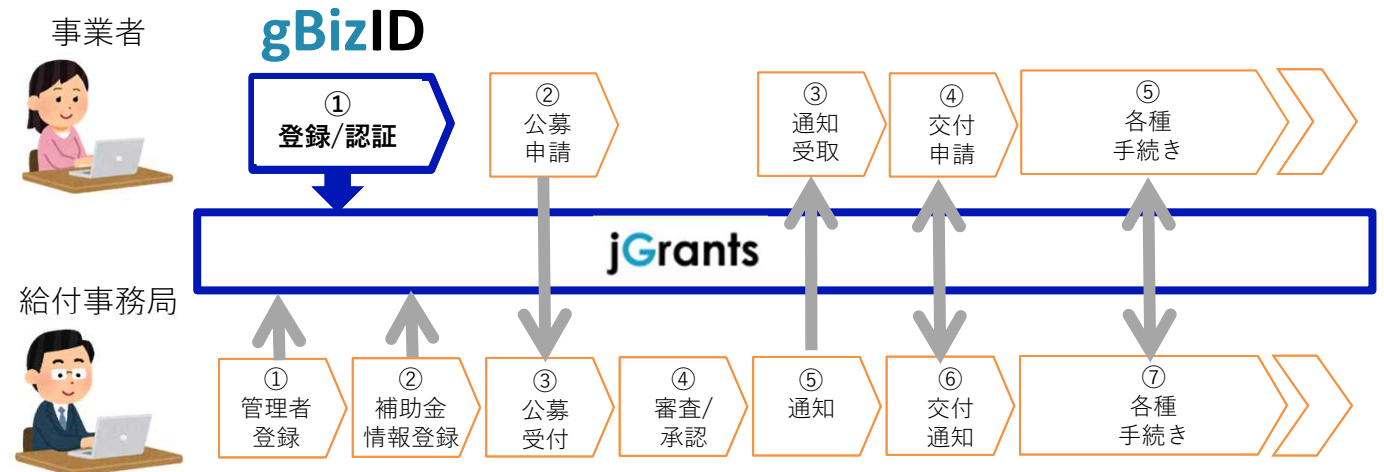


事務局

行政のデジタル化をサポート



- 補助金適正化法で定められた手続きをベースに、公募から交付、その後の実績報告や支払いの手続きまで、全てのプロセスを電子化。

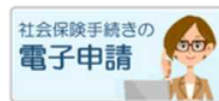


(参考) GビズID概要

- 法人・個人事業主が行政サービスに1つのアカウントでログインできるようにするためのサービス。
- 代表者確認をした上でGビズIDプライムが発行され、社員にもメンバーIDを払い出し可能。

GビズIDプライム発行数

106万者 (2023年10月末日)



e-GOV

jGrants

保有割合

法人：個人事業主 = 8 : 2

IT導入補助金

石綿事前調査結果報告システム

保安ネット

ミラサポplus
中小企業向け補助金・支援サイト

厚生労働省
食品衛生申請等システム

DIPS
Dance / G&S Information Platform System

経営力向上計画

接続システム数

172システム (2023年10月末日)

DX推進ポータル

農林水産省
共通申請サービス

金融庁
電子申請・届出システム

国

デジタル庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、農林水産省、環境省、金融庁、国土交通省等

地方

都道府県：茨城県、埼玉県、神奈川県、新潟県、大阪府、沖縄県等
市区町村：足立区、さいたま市、大阪市、神戸市等

他

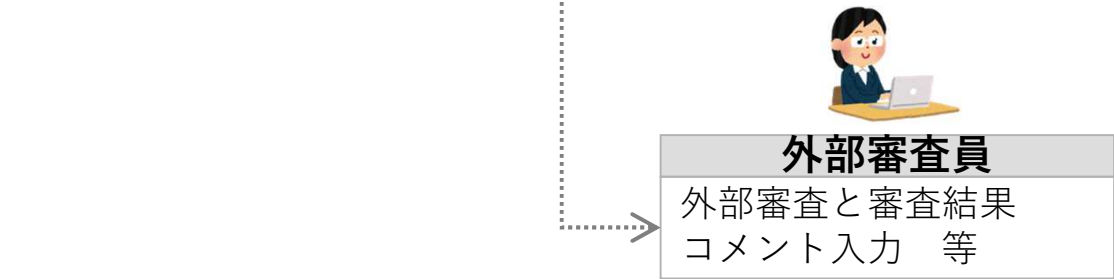
日本政策金融公庫、情報処理推進機構等

J Grantsでできること

機能



ユーザー



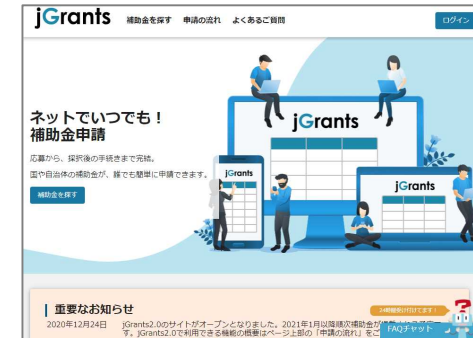
補助金セットアップ等



事務局審査



事業者サイト補助金ポータル



イメージ

事業者向け基本機能

事業者補助金ポータル画面



機能概略

事業者情報登録

- ✓ 事業者情報の編集ができ、事前登録した内容が各補助金申請フォームにプレ入力

補助金一覧と検索

- ✓ カテゴリで絞りこみ等、事業者の関心のあるテーマで補助金を探せる
- ✓ フリーテキストや利用目的での絞りこみなど充実した補助金機能

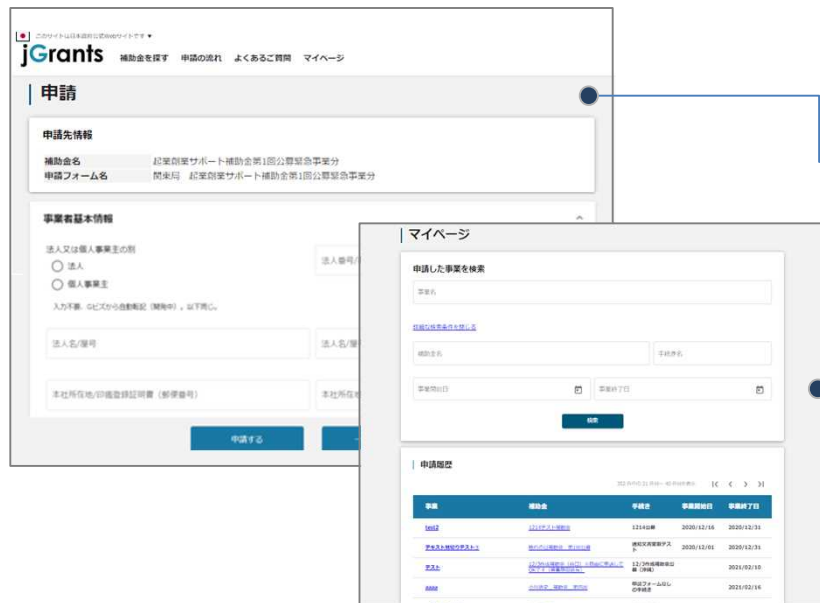
チャットボット

申請入力画面

- ✓ 補助金に即した申請フォームで申請が可能
- ✓ チェックボックスや選択式など入力簡素化
- ✓ 画面上に入力のヒントやエラー等を表示できる
- ✓ 文字数や「数字X桁」などの制御が可能、エラー抑制
- ✓ 差し戻し時に事務局からのコメントが確認できる
- ✓ gBizIDやミラサポPlusなど法人デジタルPFからのプレプリント
- ✓ 前手続きで入力した事業情報（金額・日付）からのプレプリント

マイページでの事業管理

- ✓ 一時保存中、申請済みの事業をマイページで管理できる
- ✓ 通知文書の確認ができる
- ✓ 次実施すべき申請がわかる
- ✓ 申請した事業について、事業情報（金額、日付の情報）が確認できる



事務局向け基本機能

事務局用バックエンドサイト 補助金セットアップ等の管理サイト

事務局管理者



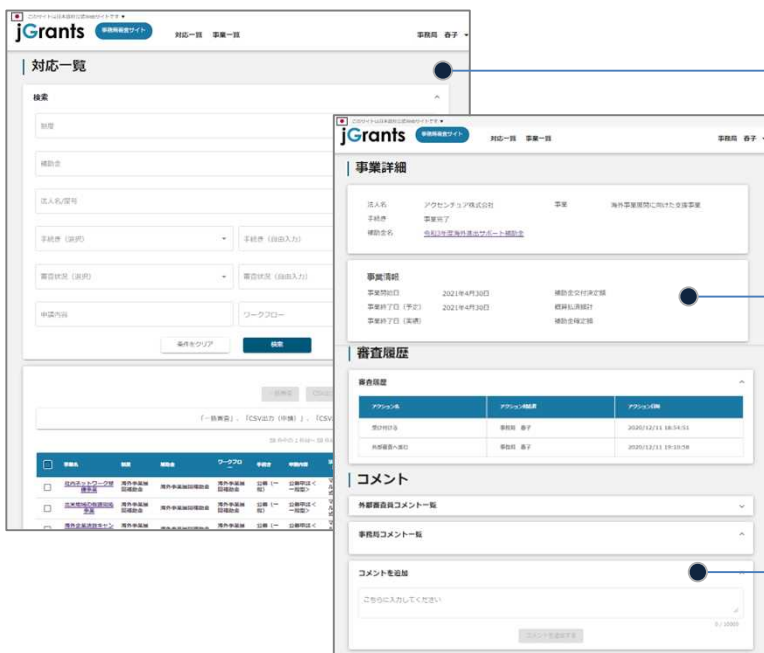
事務局アカウント・外部審査員アカウントの発行と管理

補助金情報の登録と各種セットアップ

- ✓ 補助金を登録し、公開設定
- ✓ 手続きや申請受付窓口のワークフロー設定
- ✓ 申請フォームや審査プロセス等を決定

事務局審査サイト

事務局・外部審査員



一覧管理

- ✓ 対応一覧画面にて審査すべき担当の申請事業が表示される
- ✓ 事業一覧画面にて過去の申請を含む事業の確認が可能
- ✓ ソートや補助金・ステータス等で一覧の中から絞り込みが可能
- ✓ 事業詳細画面にて事業情報の確認が可能

申請に対する審査の実施

- ✓ 事務局内のみ閲覧できるコメント記載
- ✓ 通知文書の生成
- ✓ 審査履歴の確認が可能
- ✓ 差し戻し時に事業者向けのコメント記載

外部審査がある場合は外部審査画面からの審査結果入力

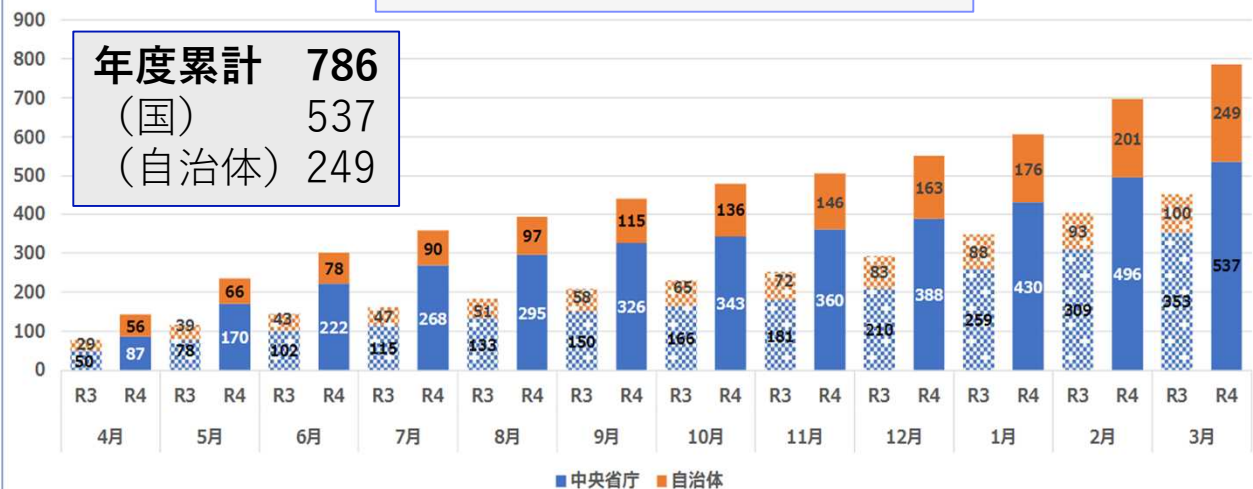
- ✓ 外部審査員が審査結果コメントをシステム上に記載
- ✓ 事務局が外部審査員のコメントを閲覧して採否決定

機能概略

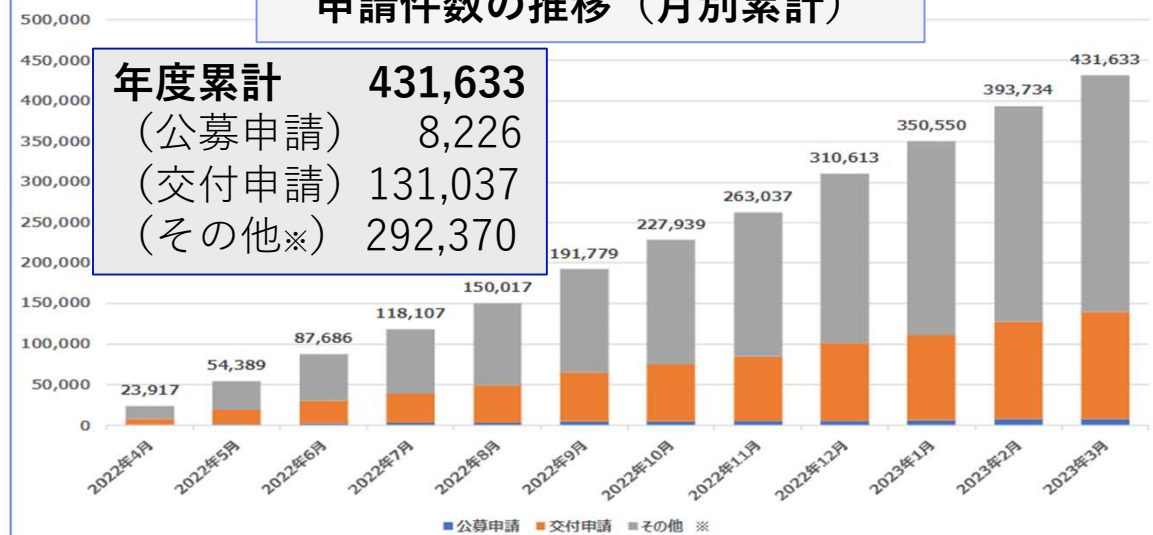
J Grantsの利用実績（令和4年度）

※公募申請・交付申請以外の申請（実績報告、概算払請求、事業者変更申請など）

補助金数の推移（月別累計）



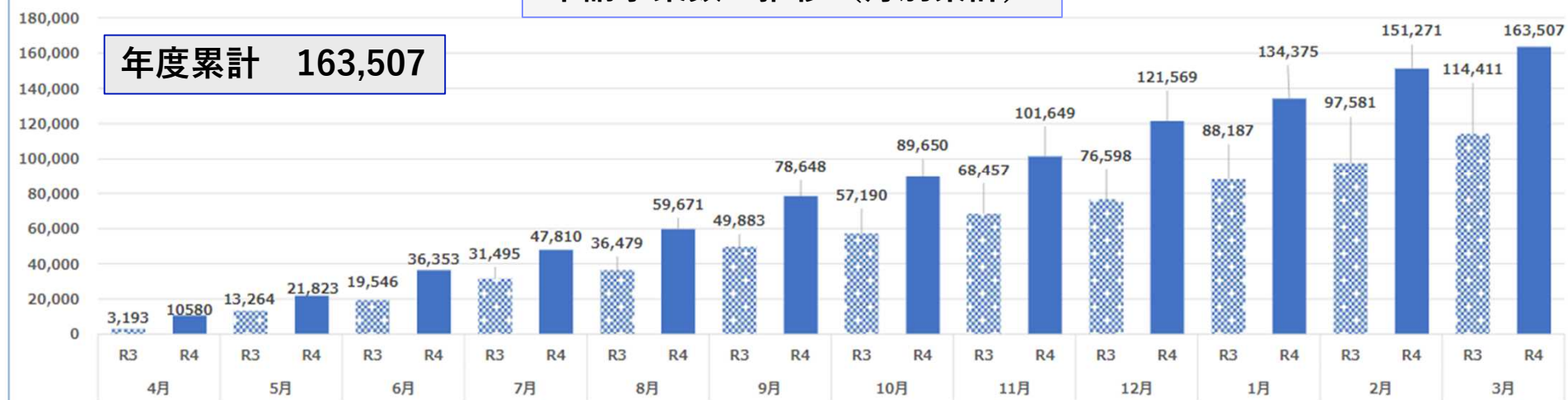
申請件数の推移（月別累計）



jGrants活用省庁・自治体（2023年3月31日時点）



申請事業数の推移（月別累計）



J GrantsのUI/UX改善（事業者向け）

検索

現状

改修後

1. 検索機能の拡充で、自社にあった補助金を発見しやすくなる
2. UIを整理することで補助金内容を直感的に理解可能

申請

1. 申請画面の情報整理により、補助金内容がよりわかりやすくなる
2. 入力フォームのエラー表示を直感的にすることで、操作に迷う時間を削減

JGrantsのUI/UX改善（事務局向け）

補助金設定

現状

The current interface for subsidy settings is cluttered and lacks visual structure. It features a sidebar with '補助金設定' and a main area with various settings like '申請受付可能' and 'ワークフロー'.

改修後

The improved interface for subsidy settings is clean and user-friendly. It features a '審査の流れ設定' section with a visual flow diagram showing the process from '公募申請' to '審査済み'.

1. 事務局が補助金の設定をする際に、システムに従って入力していけば、設定が可能
2. カスタマイズでわかりづらいステータスやイベントなどの概念を視覚的に表現

審査

The current interface for the review process is cluttered and lacks visual structure. It features a '審査' section with '申請事業情報' and '審査内容'.

The improved interface for the review process is clean and user-friendly. It features a '新機能性能成分を配合したペトフードの開発' section with a visual flow diagram showing the process from '公募申請' to '審査済み'.

1. 申請都度（公募、交付など）の申請を処理するのではなく、案件全体で俯瞰して処理する
2. 過去の申請などが後追いできる

デジタル庁
Digital Agency